

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 3 枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>肥大化する予算と基金残高の減少について これまでの重点施策の費用対効果について これまで多大な投資をしてきた「人口減少対策」や「人材育成」を声高に叫ばれてきたが、人口減少は推計人口も6万人を割り込むところまで来ている。そこで、人材育成についてはどのような人材がどれぐらい育ったのか。 また、どのような分野で活躍されているのか。 さらに、「人口減少対策」や「人材育成」への事業のこれまでの投資額と、その結果及び成果について問う。</p>	
	(2)	<p>令和5年度の決算見込みについて 今年度（令和5年度）の決算見込みと、年度末の財政調整基金とまちづくり振興基金の残高見込みを問う。</p>	
	(3)	<p>今後の加賀温泉駅周辺整備の財源について 加賀温泉駅周辺整備の貴重な財源であった重点事業推進基金はほぼ枯渇するようだが、令和7年度以降の加賀温泉駅周辺の整備計画と事業費、その財源の確保について問う。</p>	
2		<p>補正予算対応とした事業と事業費について 当初予算として厳しい財政事情の中、かなり苦労されたことと思われるが、昨年度に引き続き、多くの新規事業が補正予算対応となっているのではないかと疑念が拭えない。補正予算に先送りした事業とその事業費について、所要一般財源がおおむね1,000万円以上の事業を示せ。</p>	
3	(1)	<p>保育と教育の在り方について 保育料の在り方について 今般、第1子以降の保育料を無償とする予算案だが、受益者負担や所得制限を無視し、半ば義務教育のような状況を作り出すことが、果たして児童にとって良いことなのか。安易に保育園に預ける親が増えるのではないか。これまで以上に愛情に飢えた児童が増えるのではないか。さらに、保育士の負担がますます重くはなるのではないか。こういった危惧を覚えるが、所見を問う。 また、市の財政状況は逼迫しており、保育料の無償化については、一旦立ち止まって考え直すべきだと思うが、見解を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

		氏 名	林 俊 昭
発言番号	発言事項及び発言要旨		備 考
(2)		<p>学用品費等の保護者負担軽減事業について</p> <p>学用品費などについて児童生徒一人当たり1万円を市が負担するとのことであるが、国の財政、金融政策により、賃上げの環境が整いつつある中、なぜ学用品だけ、保護者負担の軽減を図って、公費を支出するのか理解できない。この事業の実施理由を問う。</p>	
4		<p>片山津商店街再生事業について</p> <p>加賀温泉駅前に商業施設を集約し、未来型商業施設の誘致まで進める中、片山津地区だけこのような取組を進めることには理解しがたい。</p> <p>商店、旅館数の減少傾向について、片山津地区をはじめ大聖寺地区、動橋地区、山代地区、山中地区の各地区のデータを示した上で、だから片山津地区で実施する判断をしたという説明を求める。</p>	
5		<p>国際交流基金の枯渇と今後の海外都市交流事業について</p> <p>国際交流基金が来年度で枯渇するようである。そこで、矢田市長、大幸市長、寺前市長の各任期の最終年度末の、国際交流基金の残高と、これまでの具体的な成果、この基金が枯渇した後の国際交流の方針とその財源について問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
6	(1)	<p>柴山潟周辺整備事業について 防災公園について</p> <p>本事業の目的は「柴山潟の水辺空間と白山眺望を重要な観光資源と捉え、湖岸遊歩道により湖畔と温泉街をつなぎ、一体的な景観の整備により、温泉街の魅力向上を図る」ということだが、事業イメージには、防災公園の整備が記載されており、水辺空間や白山眺望と防災公園が繋がらないが、どのような公園を目指すのか。</p>	
	(2)	<p>官民連携可能性調査業務について</p> <p>具体的にどのような調査を行い、どのような公園を目指すのか。</p>	
	(3)	<p>盛土造成工事について</p> <p>盛土造成工事の目的と場所を示せ。</p>	
	(4)	<p>財源について</p> <p>防災公園整備や処理場解体に当たり、国土交通省や防衛省など、国の補助制度の活用は想定されていないのか。総事業費18億円余りの財源内訳を示せ。</p>	
7		<p>加賀市浄化センターの扱いについて</p> <p>下水処理場統合後は、防災公園に隣接する加賀市浄化センターは廃止され、この敷地は第Ⅱ期工事の用地として、湖畔公園を拡張する計画となっているが、この加賀市浄化センターは下水道事業で解体するのか、市が買い取り、解体するのか。 また、解体費用と工期はどのくらいかかるのか。</p>	
8		<p>動橋駅活用事業について</p> <p>今般、再び動橋駅活用事業として予算を要求することは、前回の調査は何だったのか、なぜ調査の際、地元協議を並行して行わなかったのか、結局は税金の無駄遣いではなかったのか、との疑念が拭えない。今回の事業に関して、前回の調査結果も踏まえた詳細な説明を求め。</p>	